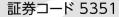


# **Presentation Material**

2023年度 第2四半期 決算説明会 2023年11月21日



#### 品川グループ At a Glance

#### I.2023年度第2四半期 の決算概要

- 1. 2023年度第2四半期の連結決算ハイライト
- 2. 新セグメントの概要
- 3. 事業セグメント別の売上高(新区分)

- 4. 事業セグメント別の営業利益(新区分)
- 5. 地域別の売上高
- 6. 営業利益の増減要因 (前年同期との比較)

#### Ⅱ.2023年度 経営計画の進捗

- 1. 第5次中期経営計画の進捗
- 2.2023年度の連結業績見通し
- 3.2023年度の営業利益の増減要因見通し
- 4. 利益還元
- 5. 「セクター制」を核としたグループ経営体制
- 6. 各セクターのビジョンと戦略概要
- 7. セクター別トピックス ①~⑤
  - 「耐火物セクター」: ①・②
  - ・「断熱材セクター」: ③
  - ·「セラミックスセクター」: ④
  - ·「エンジニアリングセクター」: ⑤

- 8. 海外事業の展開
- 9. 第6次中期経営計画に向けて
  - ①長期ビジョンの策定
  - ②ROIC経営の推進
- 10. サステナビリティへの取組みについて
  - ①概要
  - ②進捗状況

#### Ⅲ. 補足事項

- 1. 経営基本理念
- 2.11か年の売上高・経常利益の推移(連結)
- 3.「耐火物産業」の役割とは?

- 4. 主要プロダクツ
- 5. 主な特徴・強み
- 6. セクター別概況

# 品川グループ At a Glance

# 耐火物・断熱材のトップメーカーとして…

売上規模

1,249億円

国内第2位 世界第5位

収益性

ROE (2022年度)

13.0%

# 海外展開力

海外関係会社

**海外従業員** (2023年9月30日現在)

**17**社

959名

# 海外事業成長力

海外売上高5か年成長率 (2018年度実績⇒2023年度見直し)

2.2倍









# Ⅰ.2023年度第2四半期の決算概要

# 1. 2023年度第2四半期の連結決算ハイライト

(単位:億円)

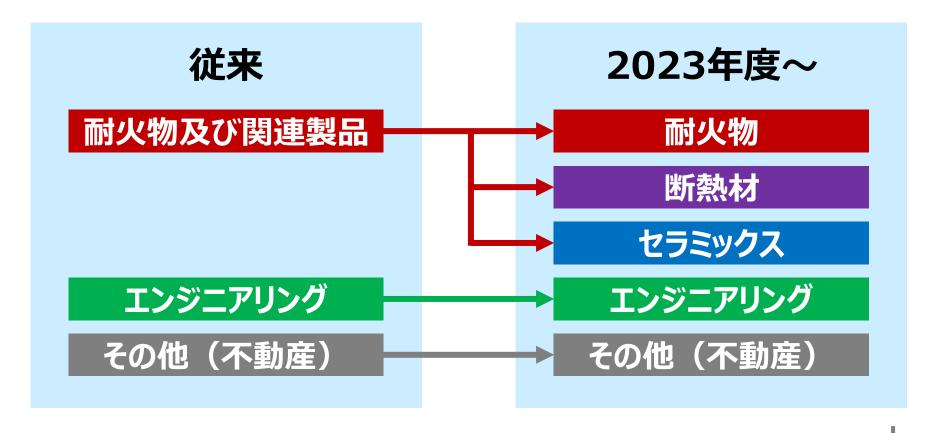
	2022年度 2Q累計 実績	2023年度 2Q累計 実 績	前 期 実績比
売 上 高	610	727	+19.1%
営業利益率)	<b>54</b> (8.8%)	<b>70</b> (9.8%)	+31.4% (+1.0pt)
経常利益	62	77	+23.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	45	94	+105.7%

注:前期実績比は円単位での計算値であり、億円単位で切り捨てている本表記上での計算値ではない。以下同様

- ●国内粗鋼生産量は、自動車向け鉄鋼需要の回復が見られるものの、建築向け鉄鋼需要が低調であることなどの要因により前年同期比2.3%減の4,376万トン
- ●原燃料・電力費の高騰を踏まえた販売価格の改定と販売構成の改善によるスプレッドの向上、新たに加わった海外事業の業績が寄与したこと、国内外への拡販活動等により、売上高・各段階利益共に第2四半期の過去最高を更新
- ●遊休土地(名古屋市港区)の売却益等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は105.7%増

# 2. 新セグメントの概要

- ●今後の持続的成長に向け、2023年度より事業ドメインを4セクターとし、 各セクターの自立的な事業運営とセクター間の協業や経営資源の有効活 用を促進する経営体制へ
- ●これに伴い、事業セグメントを、従来の3区分から新たに5区分に変更



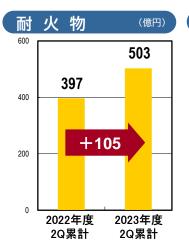
# 3. 事業セグメント別の売上高(新区分)

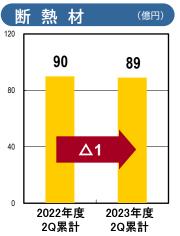
(単位:億円)

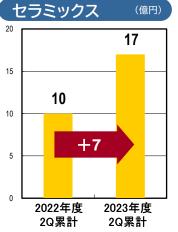
	2022年度 2Q累計 実 績	2023年度 2Q累計 実 績	前期比
	<b>397</b> [ 64.5 ]	<b>503</b> [ 68.6 ]	+26.6%
断熱材セクター	<b>90</b> [ 14.8 ]	<b>89</b> [ 12.2]	Δ1.3%
セラミックスセクター	<b>10</b> [ 1.7]	<b>17</b> [ 2.4]	+76.0%
エンジニアリングセクター	<b>113</b> [ 18.4]	<b>118</b> [ 16.1 ]	+4.4%
その他(不動産)	<b>4</b> [ 0.7]	<b>4</b> [ 0.6]	+1.1%
合計	<b>616</b> [100.0]	<b>733</b> [100.0]	+19.1%
調整額	△5	Δ6	_
売上高 計	610	727	+19.1%

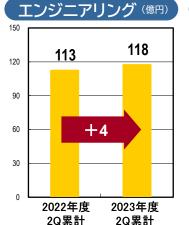
注1:[]内は、事業セグメント別の売上高構成比(%)

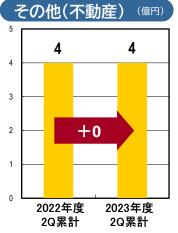
注2: 当期より報告セグメント区分を上記に変更しており、前年同期についてはセグメント区分変更後の数値に組み替えて比較しています











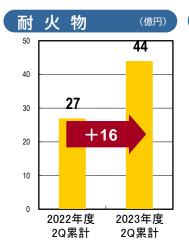
# 4. 事業セグメント別の営業利益(新区分)

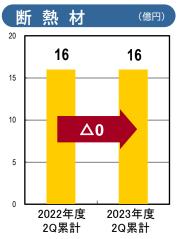
(単位:億円)

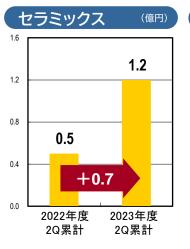
	2022年度 2Q累計	2023年度 2Q累計	前期比	
	実 績	実 績	13377725	
耐火物セクター	<b>27</b> □ 50.3 □	<b>44</b> [ 62.3 ]	+62.1%	
断熱材セクター	<b>16</b> [ 31.1 ]	<b>16</b> [ 23.4]	△1.4%	
セラミックスセクター	<b>0.5</b> [ 1.0]	<b>1.2</b> [ 1.8]	+139.1%	
エンジニアリングセクター	<b>6</b> □ 12.8 □	<b>6</b> [ 8.6]	△11.9%	
その他(不動産)	<b>2</b> □ 4.8 □	<b>2</b> [ 3.9]	+6.7%	
슴 <b>計</b>	<b>54</b> [100.0]	<b>70</b> [100.0]	+31.0%	
調整額	Δ0	0	_	
営業利益 計	54	70	+31.4%	

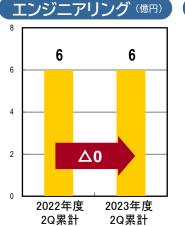
注1:[]内は、事業セグメント別の営業利益構成比(%)

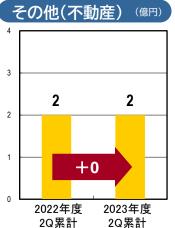
注2: 当期より報告セグメント区分を上記に変更しており、前年同期についてはセグメント区分変更後の数値に組み替えて比較しています









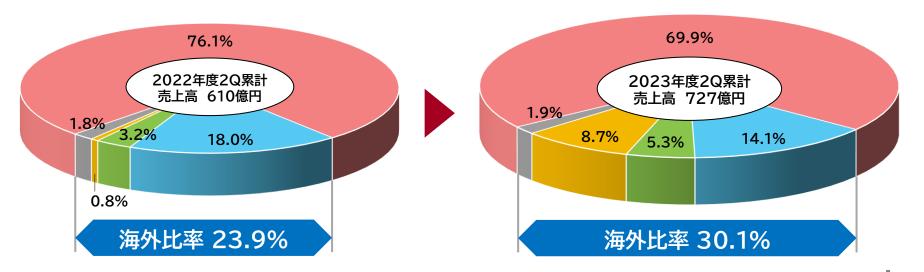


# 5. 地域別の売上高

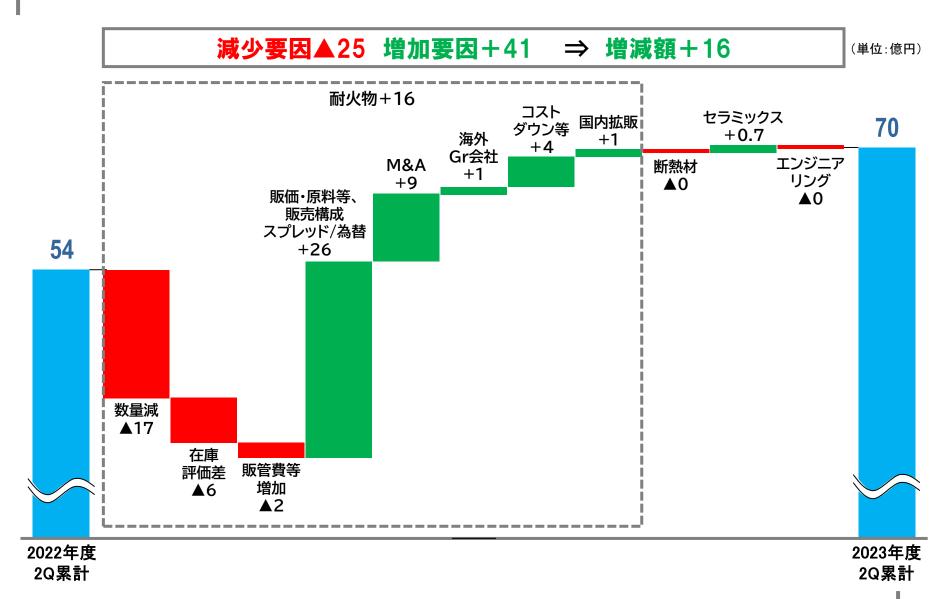
(単位:億円)

	2022年度 2Q累計		2023年度 2Q累計		前期比
	実績		実 績		
日 本	<b>461</b>		<b>505</b> [ 69.9]		+9.6%
アジア・オセアニア		<b>109</b> [ 18.0 ]		<b>102</b> [ 14.1]	△6.5%
北米	海外計	<b>19</b> [ 3.2]	海外計	<b>38</b> [ 5.3]	+95.3%
南米	<b>143</b> 億円 (23.9%)	<b>4</b> [ 0.8]	<b>215</b> 億円 (30.1%)	<b>62</b> [ 8.7]	+1,190.4%
その他海外	(231370)	<b>11</b> [ 1.8]	(301170)	<b>13</b> [ 1.9]	+24.1%
合 計	<b>606</b> [100.0]			<b>722</b> [100.0]	+19.2%
その他の収益	4			4	_
売上高 計		610	727		+19.1%

注:[]内は、事業セグメント別の売上高構成比(%)

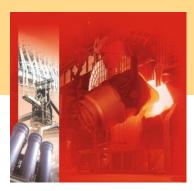


# 6. 営業利益の増減要因 (前年同期との比較)







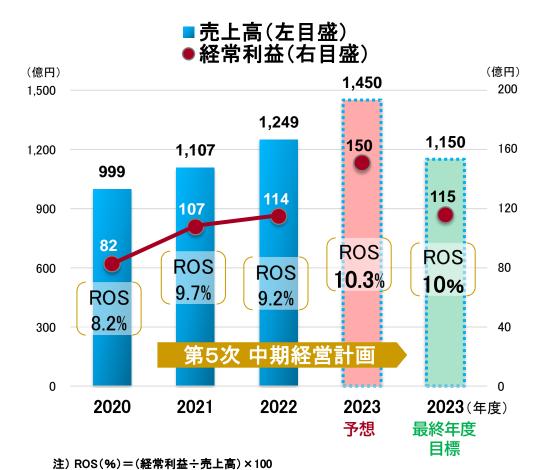




# Ⅱ. 2023年度経営計画の進捗

# 1. 第5次中期経営計画の進捗

2022年度の業績は、過去最高を更新し、 売上高は、1年前倒しで最終年度の目標を上回った。 2023年度はさらに伸長する見込み。



#### ■第5次中期経営計画 最終年度目標

	2023年度
売上高	1,150億円
経常利益	115億円
ROS	10%

#### 中期経営計画の前提条件

- ●国内粗鋼生産量:9,000万t/年
- ■為替レート:105円/US\$



#### ■2023年度 予想数値

	2023年度	
売上高	1,450億円	
経常利益	150億円	
ROS	10.3%	

#### 2023年度予想の前提条件

- ●国内粗鋼生産量:8,850万t/年
- ●為替レート:145円/US\$

# 2. 2023年度の連結業績見通し

### 中計最終年度の2023年度は、2022年度を上回る過去最高業績の更新へ

事業環境は、国内の耐火物需要やエンジニアリング工事の減少、原料価格の高止まりや燃料・電力費・物流コストの上昇など厳しい 状況にあるが、適正価格の設定や販売構成の改善によるスプレッドの向上、国内外への拡販活動、コストダウン等により、下記の 業績を目指す

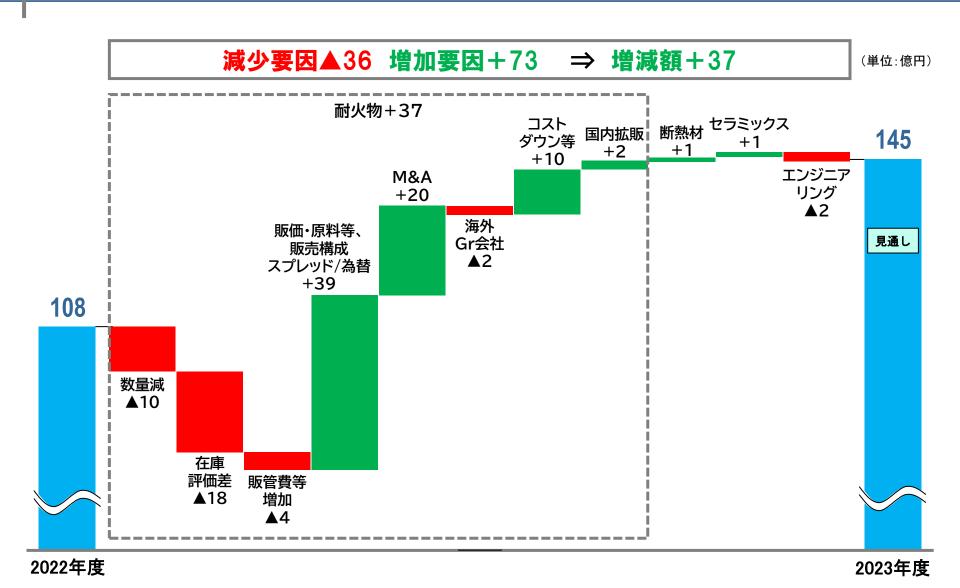
(単位:億円)

	2022年度	2023年度		前期比
	実 績	当初予想	<b>修正予想</b> (2023年9月7日公表)	(修正後)
売 上 高	1,249 [100.0]	<b>1,400</b> [100.0]	1,450 [100.0]	+16.0%
営業利益	108 [ 8.7]	120 [ 8.6]	145 [ 10.0]	+33.7%
経常利益	<b>114</b> [ 9.2]	120 [ 8.6]	150 [ 10.3]	+30.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	83 [ 6.6]	120 [ 8.6]	<b>150</b> [ 10.3]	+80.6%

注:[]内は、対売上高比率(%)

品川リフラクトリーズ 2024年3月期 第2四半期 決算説明会

# 3. 2023年度の営業利益の増減要因見通し



# 4. 利益還元

# 持続的な利益還元の充実を目指す

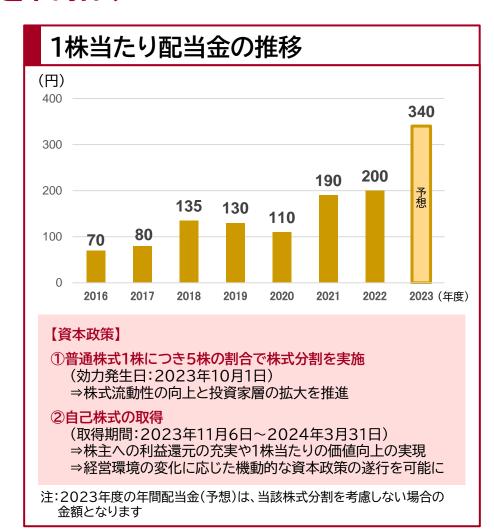
# 【配当方針】

株主の皆様への利益還元を充実させることが重要であることから、基本的な配当方針として配当性向30%を目途としています。

\*前中計までは20%目途

# 【成長投資】

土地等の遊休資産については、今後 も積極的に売却を行っていく方針で すが、その際に生じるキャッシュにつ いては、原則として将来の成長投資 に充当していく方針です。



# 5. 「セクター制」を核としたグループ経営体制

- ●事業ドメインを4セクターに分け「各事業の課題」を明確化する事で、持続的な成長を促進
- ●「グループ経営戦略会議」「コーポレート本部」の設置により、セクター間の協業、経営資源の有効活用を促進



# 6. 各セクターのビジョンと戦略概要

# 「セクター・ビジョン」、「成長戦略 基本方針」に基づき、各セクターおよびセクター間の協業による事業活動を展開中

【セクター名】	【セクター・ビジョン】	【成長戦略 基本方針】
耐火物	お客様の課題解決に資する製品・サービスの提供による、事業のグローバルな強化・拡大	<ul><li>■国内における拡販と競争力強化</li><li>●海外ビジネスの強化・拡大</li><li>●サステナビリティへの対応</li></ul>
断熱材	・「基礎と応用技術を活用した新規用途の共創」 による持続的成長 ・環境負荷低減用耐火断熱製品のグローバル供給	<ul><li>●コア事業(断熱材事業)の深化</li><li>●新規成長事業の探索</li><li>●高品質と高性能なオンリーワン商品の市場展開</li></ul>
セラミックス	「先端セラミックス技術」で成長し続ける 存在感のあるセクターへ	<ul><li>●既存市場の深耕</li><li>●新規3分野の市場への参入と拡販</li><li>●製品ラインナップの拡充</li><li>●外部技術の導入・組織強化による規模の拡大</li></ul>
エンジニアリング	高度な技術の蓄積と人的資源の統合・拡大による 持続的な事業の成長	●大型案件の獲得 ●グループ総合力向上による事業拡大 ●サステナビリティへの対応 ●築炉ビジネスの進化

#### 海外ビジネスの強化・拡大

# ブラジル SHINAGAWA REFRATÁRIOS DO BRASIL(SRB)社 の設立

SRB社の意義 (昨年5月に買収を発表)

- ●第5次中期経営計画における成果の一つ
- ●南米における当社グループ初の耐火物生産拠点の確保
- ●2023年度より当社グループの業績に寄与

#### 【SRB社の特徴】

- ●ブラジルを代表する耐火物メーカー
- ●高炉・転炉・電気炉に至る鉄鋼業界向け耐火物に加え、 鋳物用、非鉄用にも対応可



#### 【今後の展開】

- ●新規投資による設備増強・新商品生産体制の確立による よる 鉄鋼業界向け事業の拡大
- ●非鉄・セメント業界向けでの事業拡大
- ●チリ・アルゼンチンなど南米諸国へのビジネス拡大



2023年7月 ブラジル・SRB社にて

#### サステナビリティへの対応

#### リサイクル原料を活用したGreen Refractoryを開発し、セメント業界へ提案・展開中

#### 【従来】

#### マグネシア・スピネル質れんが

主にセメント製造を行う回転式の窯である セメントキルンにて使用される



使用後に廃却処分

#### 【新たな特許技術の開発】

この使用後れんがを

- ①リサイクル原料としての管理徹底
- ②リサイクル原料を含めた製品粒度 構成の最適化により、再活用する 技術を確立※
- ※ 特許-6624133および特許-6880428



▲Green Refractoryの循環イメージ

#### 【主なポイント】

- ●新規に採掘・加工された原料の使用比率が減少することにより原料製造時に発生するCO2排出量削減に寄与
- ●繰り返し再原料化を行うことで、製品の安定供給が可能
- ●製品の軽量化





マグネシア・スピネル質れんがのCO2排出量指数

#### コア事業の深化(断熱材事業の深化)

#### 高まる省エネ需要に対応し、超低熱伝導率断熱材(LTCシリーズ)を開発

#### 【LTCシリーズの特徴】

- ●従来品より低熱伝導率で優れた断熱効果を発揮
- ●厚みを薄くすることが可能
- ●強度が高く加工性に優れる
- ●人と環境に優しい製品



- ●熱口ス低減により省エネ効果が向上
- ●炉内容積の拡大も可能に



加工したLTCシリーズ

#### 主な向け先と使用設備

主な向け元と使用設備 産業	設備
・鉄鋼 ・石油化学 ・非鉄金属 ・セラミックス ・IT産業 ・自動車 ・ガラス	各種熱設備         ・燃料電池         ・水素発生装置         各種工業炉         ・加熱炉・浸炭炉         ・焼却炉・溶融炉         ・電気炉         etc

#### LTCシリーズの品質特性

項目		LTC-ES	LTC-A	LTC-HT
最高使用温度	${\mathbb C}$	1000	900	1400
かさ密度	kg/m³	250	410	430
曲げ強さ	MPa	0.3	1.1	0.6
圧縮強さ(10%歪)	MPa	1.2	2.7	0.7
熱伝導率 at 600℃ at 800℃	W/(m·K)	0.03 0.04	0.04 0.05	0.09 0.10

#### 既存市場の深耕

#### 米国向けセラミックポンプ部材の増産対応中

- ●当社のセラミックポンプ部材は、高強度で高い耐摩耗性と耐薬品性を有し、特に無機粉末が混入した液体や酸性・アルカリ性を呈する薬液において優れた耐久性を発揮する
- ●現在、米国内における高性能ポンプ需要増を背景として、耐久性に優れ、お客様から信頼を得ている当社セラミックポンプ部材の需要が増加し、増産対応中



当社セラミックポンプ部材の製品群

#### その他の施策の進捗状況

#### 新規3分野※の市場への 参入と拡販

ロール材分野において、当社技 術研究所での試作・開発ならび にお客様での実機評価を推進中

※ 特殊蒸着材、大型ロール材、リチウムイオン 電池分野

#### 製品ラインナップの拡充

使用環境が共通する断熱材セクター製品群とのクロスセリングを推進中

#### 外部技術の導入・組織強化 による規模の拡大

シナジー効果を最大限発揮できる事業分野における企業との連 携を模索

#### サステナビリティへの対応

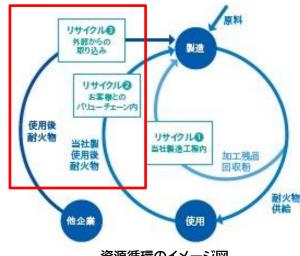
#### JFEスチール製鉄所構内において使用後耐火物の選別・回収業務を開始

2023年4月よりJFEスチール西日本製鉄所倉敷地区構内におい て使用後耐火物の選別・回収業務を開始



#### 耐火物リサイクル事業拡大に向けた取組みを展開

- ▶お客様と使用後耐火物の選別技術の改善を推進
- ●回収ルートの確立によりリサイクル原料の安定供給を推進
- <その他の取組み>
- ●さらに熱ロスを低減できる炉設計や各種窯炉の特徴に応じたGreen Refractoryの 提案等を展開中



資源循環のイメージ図

#### その他の施策の進捗状況

#### グループ総合力向上 による事業拡大

高耐用な不定形耐火物を容易 に施工できる「高密度吹付施工 技術」を開発し、実用化に向け た実炉テストを計画中

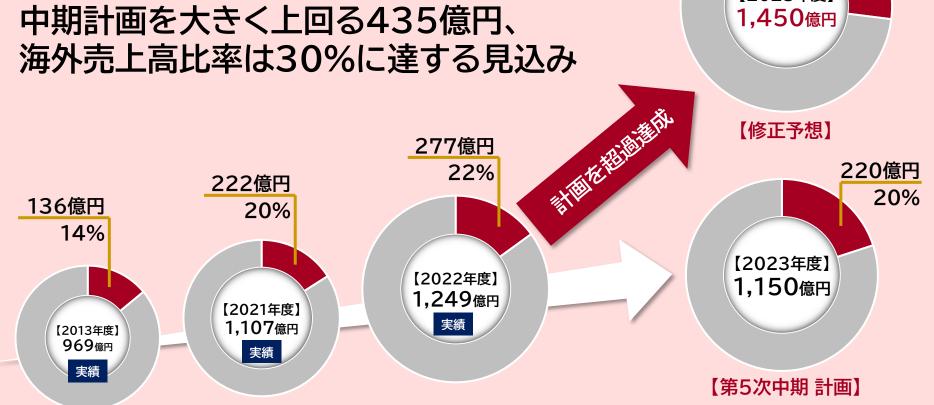
#### 築炉ビジネスの進化

- 製鉄所内れんが積み作業の補助装置を開発(機械式アシスト装置)
- ●コークス炉熱間れんが積み補修の作業環境の改善を推進
- ■高所など点検困難な場所への小型ドローン適用等各種点検・測定への新技術の展開を検討中
- ●耐火物保管管理業務の効率化のためICT(情報通信技術)の活用を推進

# 8. 海外事業の展開

# 海外売上高の推移

M&Aで獲得したブラジルSRBが加わることなどにより 2023年度のグループ海外売上高は



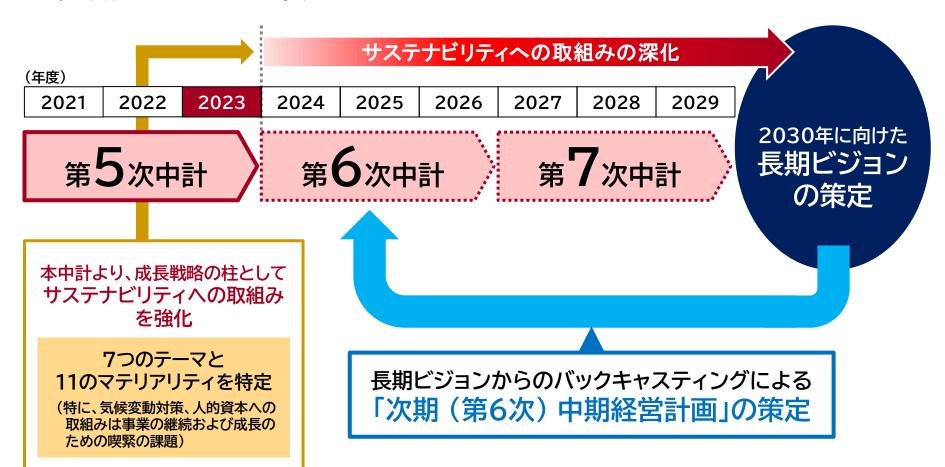
435億円

【2023年度】

30%

# 9. 第6次中期経営計画に向けて ①長期ビジョンの策定

成長戦略とサステナビリティへの取組みを表裏一体として追求する長期ビジョンの策定へ



# 9. 第6次中期経営計画に向けて ②ROIC経営の推進

"稼ぐ力"の更なる創出・強化に向け、ROIC経営をベースとし、 成長戦略の深化と、企業価値の最大化を目指す

## ROIC経営

資本効率を重視した経営戦略の構築

●資本コストを重視し、成長のための利益創造の効率性を把握

⇒セクター別のROIC目標値(長期・短期)を設定し、長期的な目標の達成に重点を置く

\*:第6次中期経営計画は、2024年5月公表予定

# 成長戦略の深化

次期中計\*に向け、現中計から成長戦略の深化を図る

製造・販売両面での事業ポートフォリオの最適化を推進

- ●事業規模の拡大と販売構成の変更
  - ・国内鉄鋼向けの販売規模は維持
  - ・非鉄・工業炉向け、海外向けの売上高比率を拡大
  - ・海外展開を加速するため、機能性耐火物生産ラインを最新鋭化

●お客様の生産体制再編への対応

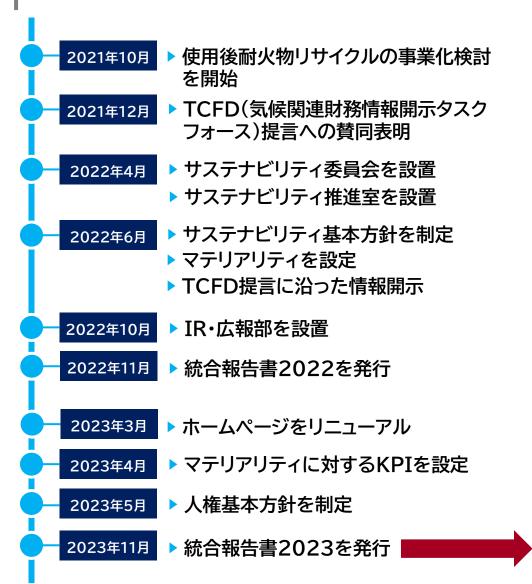
・国内生産体制の再構築

# 企業価値の最大化

企業価値の最大化によって得た成果を基に、さらなる成長への再投資とステークホルダーへの還元充実を行う

●株主還元については、配当性向と総還元性向の適性な水準について検討を行う

# 10. サステナビリティへの取組みについて ①概要





# 10. サステナビリティへの取組みについて ②進捗状況

### 気候変動対応

- ●GHG排出量の算定
  - ▶ GHGプロトコルに沿った当社グループ全体のGHG排出量を算定中
- ●太陽光発電の導入を推進
  - ▶ 当社グループのCO2総排出量の約半分を占める電力消費 による排出を削減
  - ▶ 当社単体は、2024年4月稼働を目指し、岡山県備前市に オフサイトPPAによる太陽光発電設備を設置中
  - 関係会社は、イソライト工業グループで3か所、 品川ゼネラルで1か所 設置済



IIF(マレーシア)・耐火断熱れんが工場の太陽光発電

#### 人 権 対 応

- ●人権デューデリジェンスの仕組み構築に向け取組み中
  - 人権基本方針を策定(2023年5月)
  - 人権研修を実施
  - ▶ 人権を尊重する取組みへのご賛同を主にお取引先に依頼中
  - 人権リスク特定作業を開始



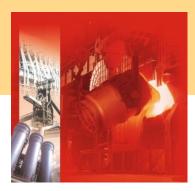
# **Presentation Material**

2023年度 第2四半期 決算説明会 2023年11月21日

証券コード 5351









# III. 補足事項

# 1. 経営基本理念

#### 品川リフラクトリーズの基本理念

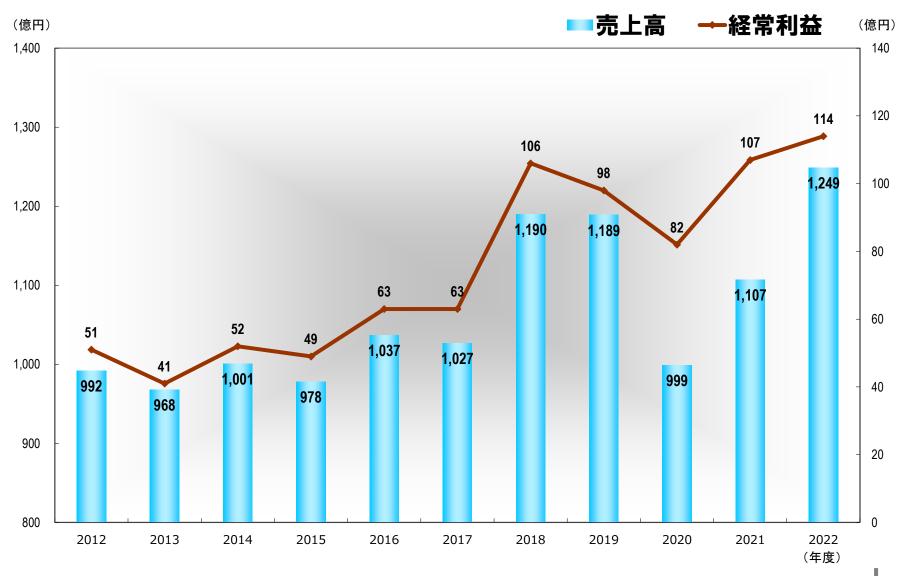
当社グループは、耐火物の製造・販売及び窯炉の設計・築炉工事等のエンジニアリングサービスの提供を通じて、産業の発展と豊かな社会の実現に貢献します。

そのため当社は、創造性と実行力に富む人材を開発し、優れた技術力、高い収益力と強固な財務基盤の確立を追求することにより、

- ① 世界トップクラスの総合耐火物メーカーとしての地位確立
- ② お客様のニーズに応えるための対応力の強化
- ③ 株主、お取引先、地域社会など当社を支える皆様方からの高い信頼の獲得
- ④ 従業員にとって魅力に富み働きがいのある職場環境の創造

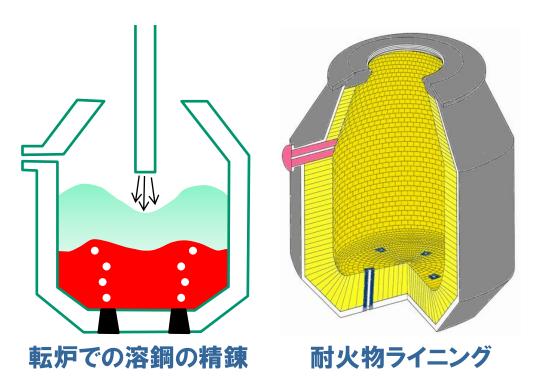
を目指します。

# 2.11か年の売上高・経常利益の推移(連結)



# 3. 「耐火物産業」の役割とは?

- 鉄鋼、非鉄金属、セメント、ガラスなど社会生活を支える 多くの素材は、耐火物を内張りした窯炉で生産されます
- 耐火物産業は、耐火物の製造、窯炉の設計や築炉工事等の エンジニアリングを通じて基幹産業の基盤を支えます



転炉用耐火れんが

耐火れんが

の築炉

# 4. 主要プロダクツ 1/3

# 耐火物

耐火物とは、1,500℃以上の高温に耐える工業用材料耐火物生産量の約8割を鉄鋼業が消費

#### 定形耐火物

あらゆる工業窯炉と高温処理 プロセスを支える定形耐火物 (いわゆる耐火れんが)

- ●塩基性れんが
- ●カーボン含有れんが
- ●粘土、高アルミナ質れんが
- ●連続鋳造用機能材
- ●炭化珪素質れんが
- ●珪石れんが など



#### 不定形耐火物

<mark>幅広い</mark>適用範囲に対応すべく、 「製品→設計→施工→アフター サービス」のトータルシステム で対応

- ●キャスタブル
- ●プレキャスト
- ●吹付材
- ●プラスチック、ラミングミックス
- ●モルタル など



#### モールド(鋳型)パウダー

<mark>高品質</mark>な鋼材生産に不可欠な 材料

(板状や棒状の鋼塊を製造する連続鋳造工程で、鋳型内の保温、酸化防止、潤滑などのために添加される粉末状の材料)



# 4. 主要プロダクツ 2/3

# 断熱材

耐熱性に加え、優れた断熱性を発揮各種窯炉の内面・背面部や化学プラントの配管の外周部などに使用

#### 耐火断熱れんが

<mark>高い製</mark>造技術により、世界に誇 る耐火断熱れんがを提供 豊富な製品ラインナップ群を 保有

- ●A~C類
- LBK
- •ISO-COR
- BAL
- ●LHB など



#### セラミックファイバー

各種工業炉の内張り・裏張り材 や配管等の外周材などに使用

- ●イソウールBSSR
- ●ファイバーマックス
- ●リフラクトリーセラミック ファイバー(RCF) など



#### 高温集塵フィルター

<mark>高温断</mark>熱技術とセラミックファイ バー成形技術を駆使した"ろ過 式集塵フィルター"

- 一般の集塵フィルターと比べ耐熱性が格段に高く(最高使用温度900°C)焼却プラントに対し安心・安全
- イソフィルシリーズ



# 4. 主要プロダクツ 3/3

### セラミックス

半導体、産業用機械などの幅広い分野で活用され、 耐熱性・耐摩耗性・耐食性等の機能を有する工業用無機材料

#### ファインセラミックス

半導体、産業用機械などの幅 広い分野で活用される高精密 なセラミックス

- ●半導体製造装置
- ●液晶製造装置
- ●ケミカルポンプ
- ●溶湯設備
- ●耐熱・耐摩耗設備 など



#### 耐摩耗セラミックス

<mark>産業機</mark>械の機器寿命を延ばし、 最大限の稼働レベルに保つ摩 耗ソリューションを提供

- ●製鉄•非鉄設備
- ●化学工業設備
- ●セメント・鉱工業設備
- ●発電所・電力設備
- ●食品工業設備 など



#### セラミックス塗料・接着剤

耐熱性・耐食性・電気絶縁性に優れた表面コーティングや接着を実現する無機材料を提供

(ゾルゲルプロセスによって作製された無機質ワニスと無機顔料が主成分。液状製品を塗布乾燥することで、1000°C以上の高温に耐え得る塗膜・接着層を形成)

- 半導体製造装置用絶縁塗料
- 各種産業用高温接着剤 など



# 5. 主な特徴・強み ①高温技術

#### 高温技術のリーディングカンパニー

#### 技術力に裏付けされたソリューションの提供

- ●耐火物
- ●モールドパウダー
- ●断熱材
- ●ファイン セラミックス
- ●その他
- ●高炉
- ●転炉
- ●熱風炉
- ●焼却炉
- ●その他

耐火物・ 断熱材の 開発·製造

窯炉の

設計•施工

耐火物 技術

断熱材 技術

新たな炉材の開発

セラミックファイバー

含有耐火物の研究

新たな炉材ライニング の開発

耐火物と断熱材を 組み合わせた熱ロスの少ない 炉材ライニングの研究

#### 高温プロセスを有する多様な産業

鉄鋼

非鉄金属

セメント

ガラス

化学

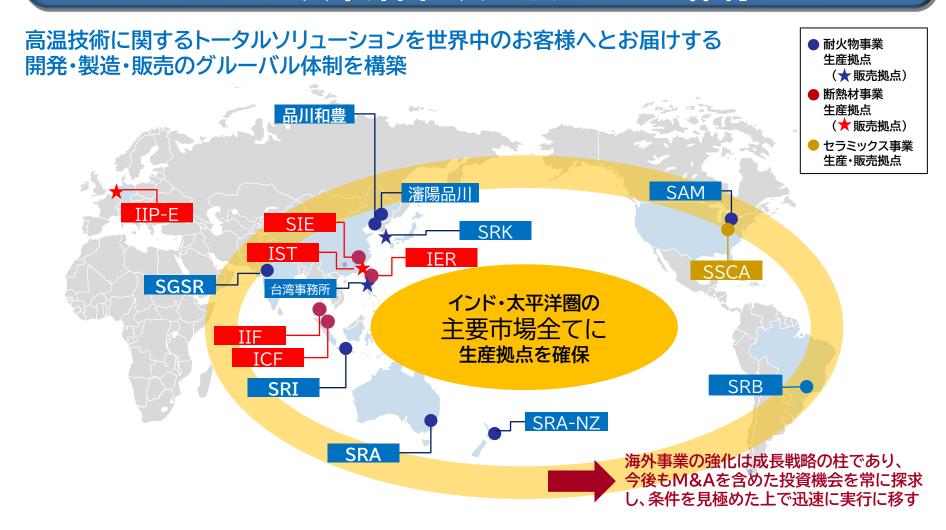
環境対策

エネルギ

35

# 5. 主な特徴・強み ②グローバル体制

# インド・太平洋圏に広がるグローバル体制



# 6. セクター別概況 1 「耐火物セクター」

#### セクター・ビジョン

お客様の課題解決に資する製品・サービスの提供による、事業のグローバルな強化・拡大

## 成長戦略 基本方針

#### ●国内における拡販と競争力強化

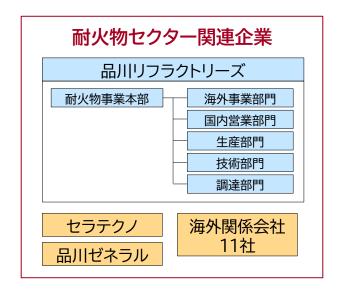
- ・国内鉄鋼向けの販売規模の維持と、非鉄・工業炉向けへの拡販
- ・生産体制の再構築と合理化投資によるコスト競争力の強化
- ・海外を含めたグループ内でのベストプラクティス共有による製造実力の強化

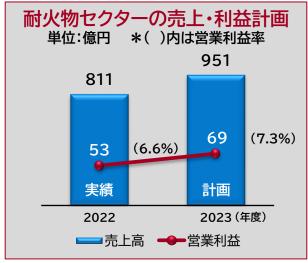
#### ●海外ビジネスの強化・拡大

- ・米州市場における生産・販売拠点の体制強化による拡販
- ・機能性耐火物を軸とした海外における事業提携の拡大やM&Aの継続的な推進
- ・海外展開を加速するための国内生産拠点の拡充(輸出体制強化)と海外市場向け製品開発の強化

#### ●サステナビリティへの対応

- ・エンジニアリングセクターと連携した使用後耐火物リサイクル事業の拡大
- ・断熱材セクターと連携し、顧客の熱口ス低減に資するソリューション型営業の推進
- ・カーボンニュートラルに向けた新製鉄プロセスに対応した製品群の拡充
- ・積極的な設備投資による自社生産工程におけるGHG排出量の削減





# 6. セクター別概況 2 「断熱材セクター」



#### セクター・ビジョン

- ・「基礎と応用技術を活用した新規用途の共創」による 持続的成長
- ・環境負荷低減用耐火断熱製品のグローバル供給

### 成長戦略 基本方針

#### コア事業(断熱材事業)の深化

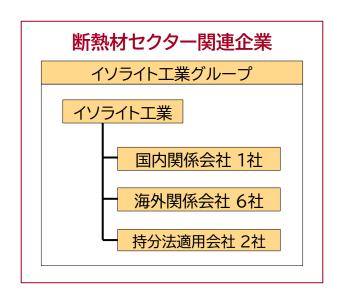
- ・製造-販売-開発-エンジニアリングの連携強化による顧客満足度の深堀り
- ・繊維化技術刷新による品質・生産性向上とコスト削減
- ・海外子会社支援強化によるベストプラクティスの構築
- ・営業プラットホームを共用した耐火物セクターとの連携強化

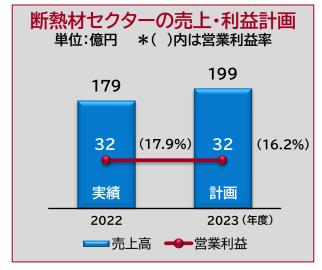
#### 新規成長事業の探索

- ・自動車・燃料電池用パーツ、ならびに半導体・電子部品の製造用ツール としての市場拡大
- ・耐火断熱を生かした不燃建材,省エネ-サステナブル製品の浸透

#### |高品質と高性能なオンリーワン商品の市場展開

・「人と環境に優しい」をコンセプトとした断熱製品の機能強化 - 生体溶解性ファイバーとアルミナファイバー商品の多様化-





# 6. セクター別概況 3 「セラミックスセクター」

## セクター・ビジョン

「先端セラミックス技術」で成長し続ける 存在感のあるセクターへ

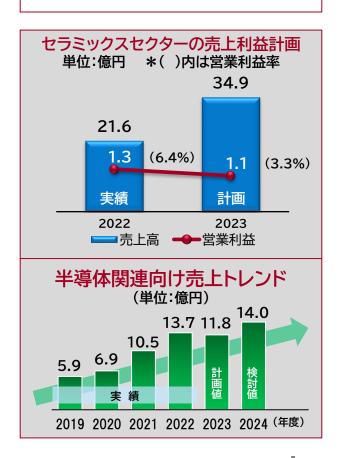
## 成長戦略 基本方針

- 既存市場の深耕
  - ・今後の需要増が期待される半導体製造装置分野における 生産能力増強
  - ・液晶製造装置分野におけるコスト競争力強化
- )新規3分野の市場への参入と拡販
  - ②大型ロール材 ③Liイオン電池分野 ① 特殊蒸着材
- ▶製品ラインナップの拡充
  - ・耐摩耗性セラミックス製品のラインナップ拡充による拡販
- ●外部技術の導入・組織強化による規模の拡大

#### セラミックスセクター関連企業

品川ファインセラミックス

**SSCA** 





# 6. セクター別概況 4 「エンジニアリングセクター」

#### セクター・ビジョン

高度な技術の蓄積と人的資源の統合・拡大 による持続的な事業の成長

### 成長戦略 基本方針

#### ▶大型案件の獲得

既存分野において安全・品質・技術面でのお客様の満足度を向上させ、 継続的に大型案件を獲得

#### ●グループ総合力向上による事業拡大

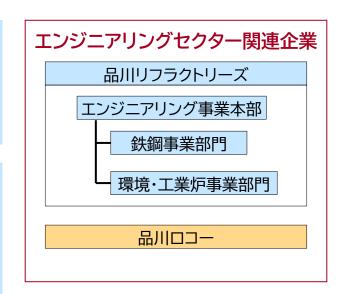
品川Grエンジニアリング部門の経営資源の最適運用により総合力を高め、 事業拡大を推進

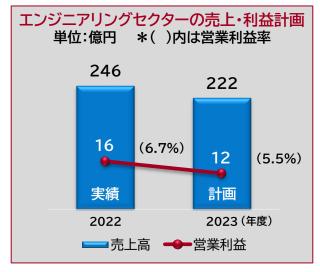
#### ▶サステナビリティへの対応

カーボンニュートラルへの対応やリサイクル事業の拡大など 持続的な成長分野への対応を強化

#### |築炉ビジネスの進化

積極的な新技術の開発を推進し、新時代の築炉事業を追求 (DX、機械化、ダイバーシティ)





#### ご注意

本資料は、2024年3月期第2四半期決算(2023年4月~2023年9月) の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する 有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。 また、本資料は、2023年11月21日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証又は約束するものではなく、また、今後予告なしに変更されることがあります。



# **Presentation Material**

2023年度 第2四半期 決算説明会 2023年11月21日

